

ファンド  
レポート

## ～成長企業の再評価はこれから②～

- 5月下旬以降株式市場は大幅に調整する展開となっておりますが、当ファンドのパフォーマンスは引き続き、市場平均を上回って推移しています。
- 世界的に競争力が高く、円高是正の恩恵も享受できる自動車関連の企業群に加え、中長期的な観点から収益成長が期待できるヘルスケア業界などに注目しています。

## 株式市況の今後の見通し

当ファンドの参考指数である東証株価指数(TOPIX)は国内長期金利の上昇や早期に米国の量的緩和策が縮小されるとの観測などを背景に調整する展開となっております。これまでの上昇が急ピッチで過熱感があったことも一因と考えます。

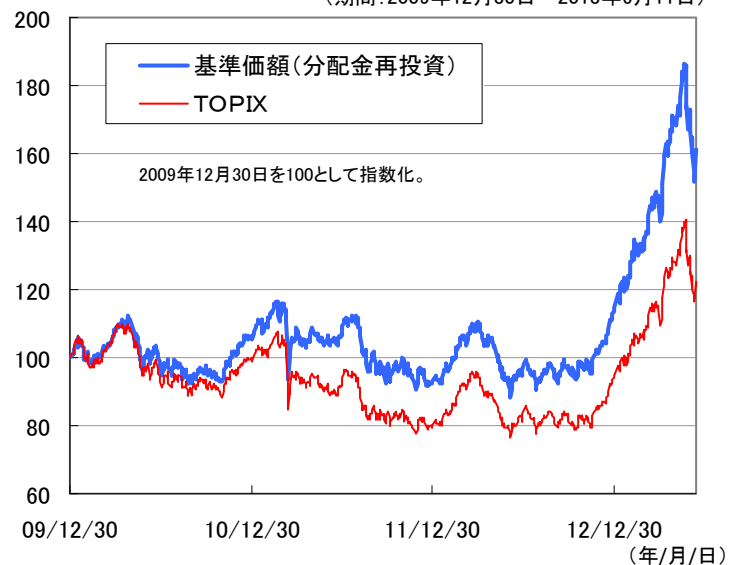
当ファンドはこのような環境下でも、年初来から6月11日までの期間でTOPIXの騰落率を12.1%上回っています。この期間でプラスに寄与した銘柄は「マツダ」、「朝日インテック」、「エムスリー」などです。

今後の市場見通しについては、堅調な米国景気と円高是正から外需関連企業を中心とした業績拡大、参議院選挙後の本腰を入れた経済政策への期待などを背景に、徐々に堅調な展開に戻ると考えます。

※TOPIXは、当ファンドのベンチマークではありませんが、市況推移の参考として掲載しています。

《当ファンドの基準価額とTOPIXの推移》

(期間:2009年12月30日～2013年6月11日)



(出所)三菱UFJ投信作成

## 《投資コンセプトと組入銘柄例》

投資コンセプト(銘柄選定の主な観点)	銘柄名(銘柄コード)	注目点
成長の基盤 (商品の独自性・将来性など)	富士重工業(7270)	先進運転支援システム「アイサイト」に独自性と将来性を見出せる。同技術によりドライブに安心、楽しさと販売台数増を実現。
スマートな成長 (効率を損なわない成長など)	シスメックス(6869)	血球計数検査分野に高い競争力を持つ。海外売上比率は7割程度。成長市場の中国において、約160の1次代理店と連携し事業展開。南米においても大手医療検査機器メーカーと連携。
成長のファクター (ブランド力など)	ブリヂストン(5108)	世界タイヤ大手3強の一角。米国ファイアストンの買収などにより北米売上比率が高い。パンク時の一定距離を安全に走行できるランフラットタイヤなどの戦略商品を拡大中。

・上記は、特定の銘柄の価格変動等の示唆・保証、または推奨を目的とするものではありません。また、ファンドが実際に投資する銘柄とは異なる場合があります。

・上記は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。  
 ・本見通しないし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動・運用成果等を示唆・保証するものではありません。計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

## 三菱UFJ 日本成長株オープン【愛称:ブルーム】

## 当ファンドが注目する業界 ①自動車関連業界

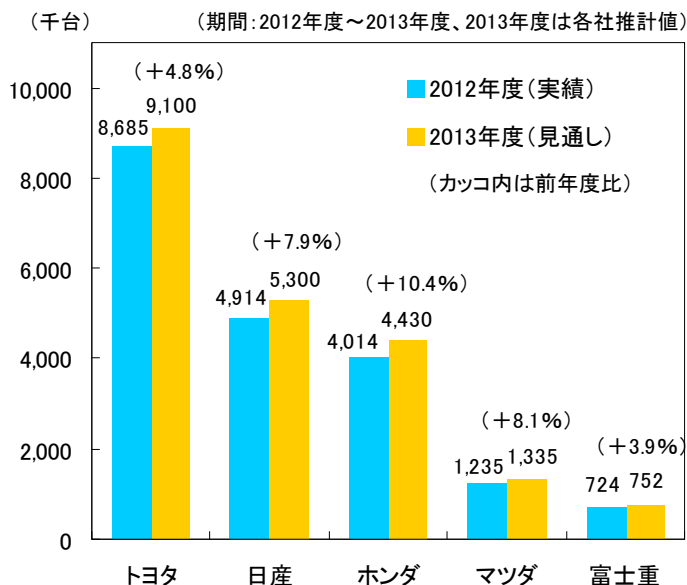
堅調な米国景気とモデルチェンジを背景とした完成車メーカーの販売拡大に注目しています。また、同業界は今期業績予想の為替前提が保守的で円安メリットを期待できる業界でもあります。

とりわけ、収益構造や販売台数が劇的に変わる可能性のある、アイサイト(先進運転支援システム)やスカイアクティブ(燃費改善)などの新技術などに注目しています。また完成車メーカーの海外生産拡大を背景に設備投資の増強が期待され、その恩恵を受ける企業も注視しています。

さらに注目されるのが、完成車メーカーが価格競争力を持つために進めている部品の共通化です。共通部品を生産する部品会社は、大量生産することにより生産効率を上げ、低コストの部品供給力を背景に他の完成車メーカーへの拡販も期待できます。

当ファンドでは新技術の観点から「マツダ」、設備投資の観点から「アイダエンジニアリング」、部品の共通化の観点から「アイシン精機」などに注目しています。

《完成車メーカーの自動車世界販売台数》



(出所)各社決算資料等のデータより三菱UFJ投信作成

## 当ファンドが注目する業界 ②ヘルスケア業界

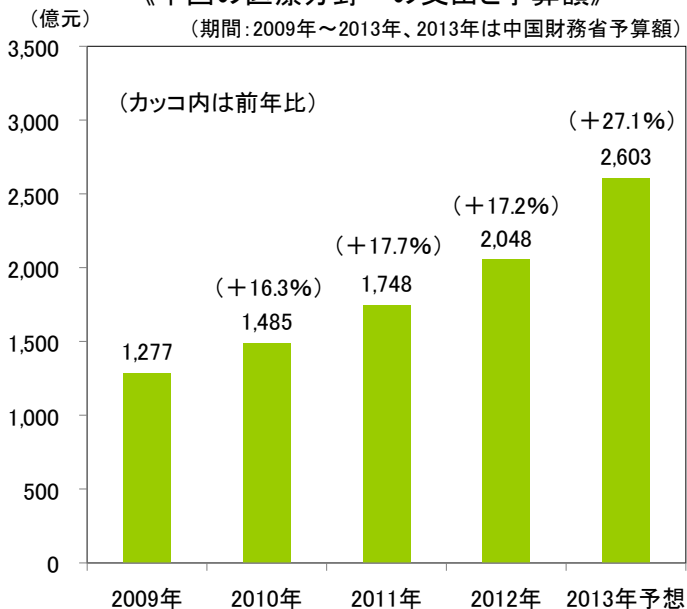
今後世界では、先進国のみならず中国やタイなどの新興国でも高齢化が進むと見られており、ヘルスケア業界は市場拡大が期待できる有望なセクターです。新興国においては、経済成長の下で発生した貧富の格差拡大による国民の不満を和らげるため、政府が国民医療の拡充を優先政策の一つに掲げていること等も、ヘルスケア業界には追い風です。

当ファンドではニッチ市場において圧倒的な製品競争力を持つ企業に注目しています。投資に当たっては、製品の市場競争力はもちろん、その製品を拡販していただけるだけの体制の有無などが重要なポイントになります。

ユーザーである医師の評価も製品を判断する上で重要なポイントです。使いやすい器具、あるいは手術方法は日本のみならず世界に波及する可能性が高いためです。

当ファンドでは、医療機器等のニッチ市場において圧倒的な競争力を持ち、中国での売上が拡大している企業として、「シスメックス」や「朝日インテック」などに注目しています。

《中国の医療分野への支出と予算額》



(出所)中国財務省のデータより三菱UFJ投信作成

・上記は、特定の銘柄の価格変動等の示唆・保証、または推奨を目的とするものではありません。また、ファンドが実際に投資する銘柄とは異なる場合があります。

## ■ 東証株価指数(TOPIX)

東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。東証株価指数(TOPIX)(配当込み)とは、TOPIXに現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

・上記は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。  
 ・本見通ししないし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動・運用成果等を示唆・保証するものではありません。計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

**三菱UFJ 日本成長株オープン【愛称:ブルーム】**
**ファンドの目的・特色**
**■ファンドの目的**

わが国の株式を主要投資対象とし、ボトムアップ・アプローチを基本としたアクティブ運用により、長期的に安定した値上がり益の獲得をめざします。

**■ファンドの特色**

「ブルーム」の運用手法…足と頭を使って、スマートな成長を実現する方程式を見出すことをめざします。

**銘柄選定の主な観点**

- ・成長の基盤: 企業の成長のインフラ(基盤)、事業のストラクチャーを見極めます。
- ・スマートな成長: 成長に根拠や計算があるかどうかを見極めます。
- ・成長のファクター: 成長のファクターが明確であるかを見極めます。

**<主な投資制限>**

- ・株式への投資割合に制限を設けません。
- ・同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。
- ・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定します。

**<分配方針>**

- ・年1回の決算時(4月20日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。
- ・分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
- ・分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

**投資リスク**
**■基準価額の変動要因**

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

**市場リスク**
**(価格変動リスク)**

一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

**信用リスク**

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

**流動性リスク**

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

**■その他の留意点**

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
  - ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

**■リスクの管理体制**

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

**《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》**

委託会社(ファンドの運用の指図等) 三菱UFJ投信株式会社  
 受託会社(ファンドの財産の保管・管理等) 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 販売会社(購入・換金の取扱い等) 後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用 …三菱UFJ投信株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
 加入協会 一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会

**三菱UFJ 日本成長株オープン【愛称:ブルーム】**
**手続・手数料等**
**■お申込みメモ**

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金単位	1万口単位または1口単位 販売会社の取扱いにより単位が異なります。／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額－信託財産留保額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して4営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みには制限を設ける場合があります。 なお、1億口または1億円以上の換金のお申込みについては正午までにお願います。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することがあります。
信託期間	無期限(1999年4月28日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。
決算日	毎年4月20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に分配を行います。 ※販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。

**■ファンドの費用・税金**
**・ファンドの費用**
**【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】**

お客さまが直接的に負担する費用	
購入時	
購入時手数料	購入価額× <b>2.625%(税抜 2.5%)</b> (上限) 販売会社にご確認ください。
換金時	
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額× <b>0.3%</b>
お客さまが信託財産で間接的に負担する費用	
保有期間中	
運用管理費用(信託報酬)	純資産総額× <b>年1.6275%(税抜 年1.55%)</b>
その他の費用・手数料	売買委託手数料等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※運用管理費用(信託報酬)は毎日計上され、毎計算期間の6ヵ月終了日および毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。

その他の費用・手数料は、その都度信託財産から支払われます。

※購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限り、)には消費税等相当額が含まれます。

※お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

**・税金**

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

**当資料のご利用にあたっての注意事項等**

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。／投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。／投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡する最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料です。／当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。／当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。／当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

■市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

**《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》**

お客さま専用  
フリーダイヤル  **0120-151034**  
受付時間／9:00～17:00 (土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

<オフィシャルサイト> <http://www.am.mufig.jp/>  
<モバイルサイト> <http://k.m-muam.jp/a/1/3>  
基準価額・分配金をメール配信(\*メール配信対象外ファンドもあります。)



**販売会社情報一覧表**

ファンド名称:三菱UFJ 日本成長株オープン

商号	登録番号等	加入協会
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社 南都銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第15号	日本証券業協会
丸三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第167号	日本証券業協会
株式会社 三菱東京UFJ銀行(*)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会／ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／ 一般社団法人金融先物取引業協会／ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会

※商号欄に(\*)の表示がある場合、新規申込のお取扱いを中止しております。